



あなたの、いちばんであるために。

やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

中小企業景況レポート 2025 年 10～12 月期 No.72 2026.1.15 発刊

■ 調査要領 ■

- 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
- 調査時期・期間
調査時期：2025年12月1日～5日
調査期間：今期実績 2025年10月～12月
来期見通し 2026年1月～3月
- 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法
D I を中心に分析
- 特別調査
「2026 年（令和 8 年）の経営見通し」

■ 調査対象と回答状況 ■

業 種	企 業 数	回 答 数	回 答 率
製 造 業	28	26	92.9%
卸 売 業	15	14	93.3%
小 売 業	17	17	100.0%
サービス業	26	24	92.3%
建 設 業	23	21	91.3%
不 動 産 業	11	11	100.0%
合 計	120	113	94.2%

※ D I（Diffusion Index）とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DI は50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝ +30となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業 況 判 断 D I

業 種	前 期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	D I	良い	悪い	D I
総 合	▲11.6	17.6	25.6	▲8.0	20.3	25.6	▲5.3
製 造 業	▲28.0	19.2	38.4	▲19.2	26.9	34.6	▲7.7
卸 売 業	▲40.0	28.5	14.2	14.3	28.5	14.2	14.3
小 売 業	▲11.8	17.6	23.5	▲5.9	11.7	11.7	0.0
サービス業	4.2	8.3	29.1	▲20.8	8.3	41.6	▲33.3
建 設 業	▲4.8	23.8	19.0	4.8	23.8	23.8	0.0
不動産業	20.0	9.0	18.1	▲9.1	27.2	9.0	18.2

業 種 別 景 気 天 気 図

業 種	前 期	今 期	見 通 し
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サービス業			
建 設 業			
不動産業			

31以上	11～30	10～▲10	▲11～▲30	▲31以下

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、

正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区65社、東部地区30社、相模原周辺地区18社

概 況

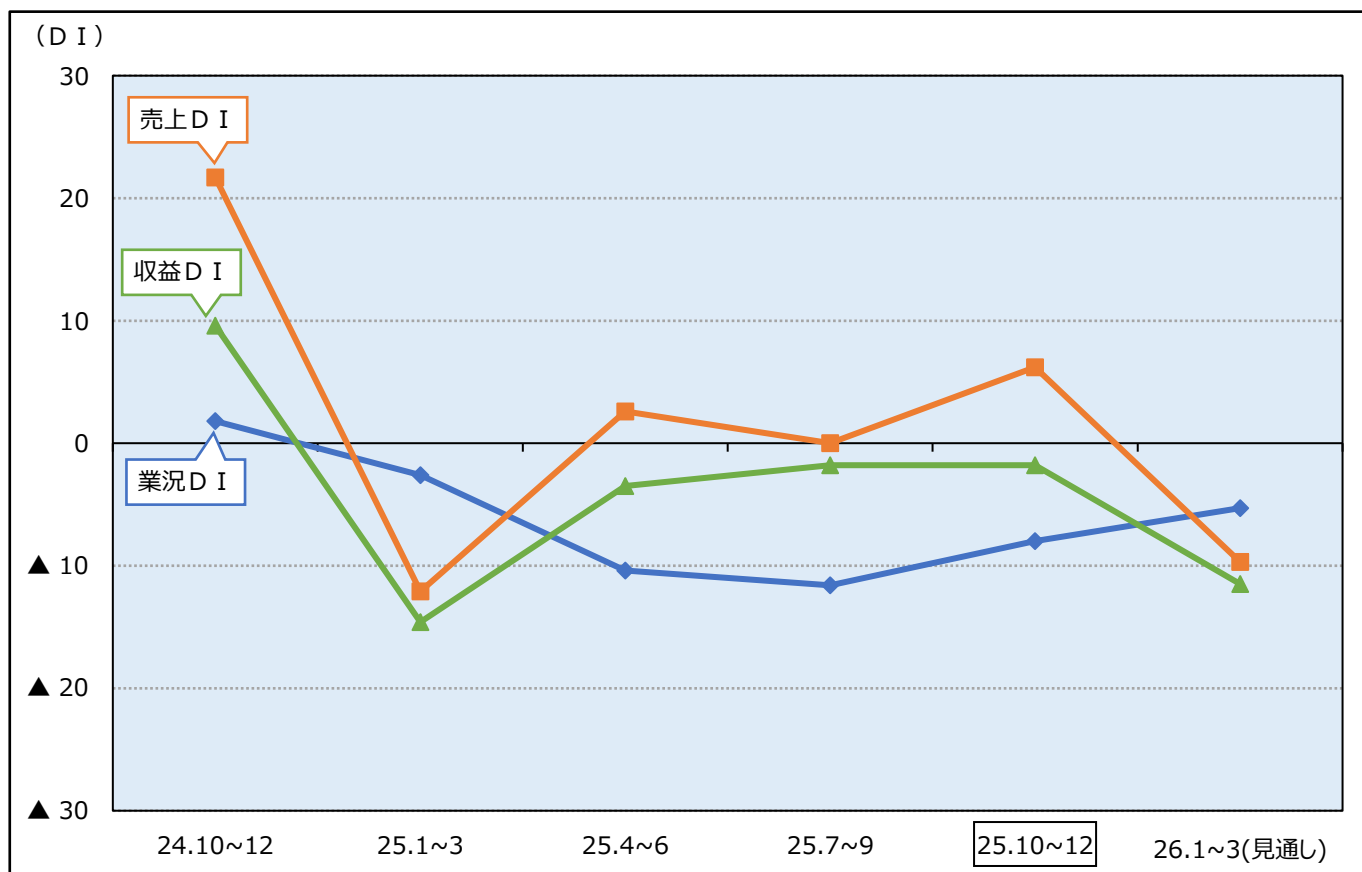
<業況・売上・収益>

今期（10～12月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（7～9月、以下同じ。）▲11.6から▲8.0と、3.6ポイント改善（前年同期比9.8ポイント悪化）しました。売上D Iは同0.0から6.2ポイント改善（同比15.5ポイント悪化）、収益D Iは同▲1.8から横這い（同比11.4ポイント悪化）となりました。

来期（1～3月、以下同じ。）をみると、業況D Iは▲8.0から▲5.3と、今期実績比2.7ポイント改善の見通しとなりました。売上D Iは同6.2から▲9.7と、同比15.9ポイント悪化、収益D Iは同▲1.8から▲11.5と、同比9.7ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

	24.10～12	25.1～3	25.4～6	25.7～9	25.10～12	26.1～3 見通し
業 況 D I	1.8	▲2.6	▲10.4	▲11.6	▲8.0	▲5.3
売 上 D I	21.7	▲12.1	2.6	0.0	6.2	▲9.7
収 益 D I	9.6	▲14.6	▲3.5	▲1.8	▲1.8	▲11.5

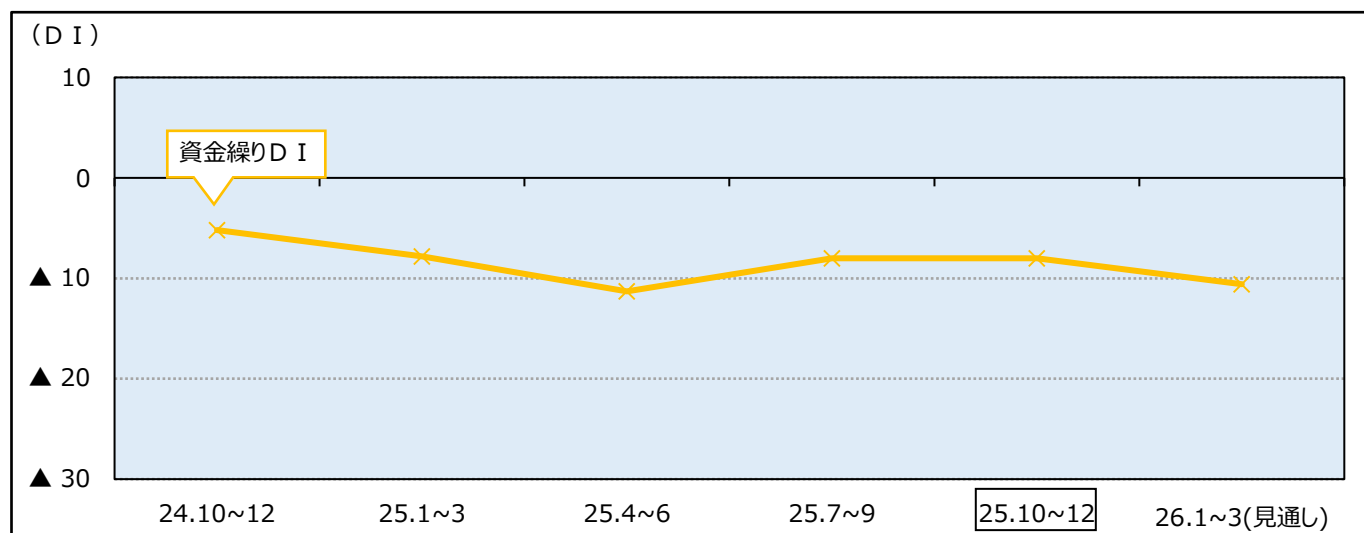


<資金繰り>

今期の資金繰りD I は前期▲8.0から横這い（前年同期比2.8ポイント悪化）となりました。また、来期は▲10.6と、今期実績比2.6ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 資金繰りD I の時系列推移 ■

	24.10～12	25.1～3	25.4～6	25.7～9	25.10～12	26.1～3 見通し
資金繰りD I	▲5.2	▲7.8	▲11.3	▲8.0	▲8.0	▲10.6



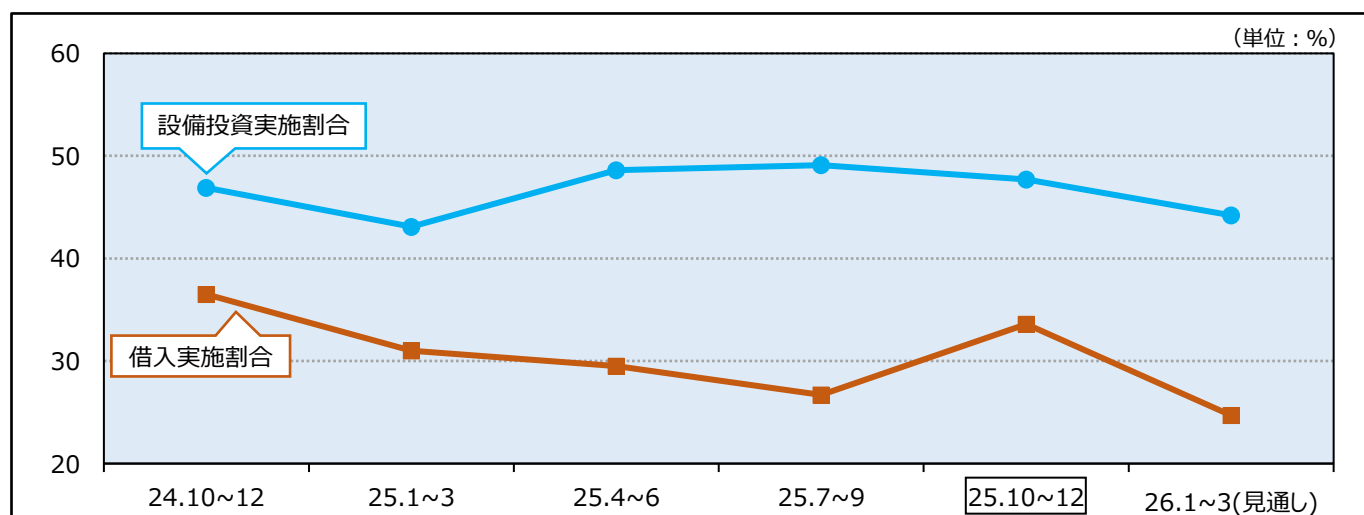
<設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期49.1%から47.7%と、前期比1.4ポイント低下（前年同期比0.8ポイント上昇）となりました。また、来期は44.2%と、今期実績比3.5ポイントの低下が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期26.7%から33.6%と、前期比6.9ポイント上昇（前年同期比2.9ポイント低下）しました。また、来期は24.7%と、今期実績比8.9ポイントの低下が見込まれます。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

	24.10～12	25.1～3	25.4～6	25.7～9	25.10～12	26.1～3 見通し
設備投資実施割合	46.9%	43.1%	48.6%	49.1%	47.7%	44.2%
借入実施割合	36.5%	31.0%	29.5%	26.7%	33.6%	24.7%



製造業

■ 主要D Iの推移 ■

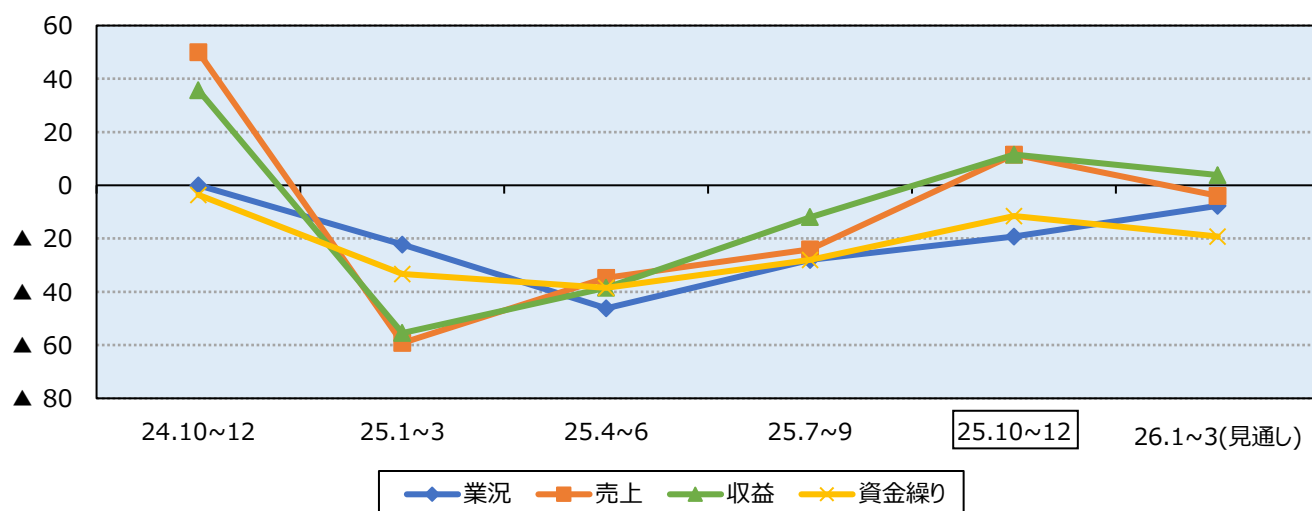
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	0.0	▲28.0	▲19.2	▲7.7
売 上	50.0	▲24.0	11.5	▲3.9
収 益	35.7	▲12.0	11.5	3.9
資 金 繰 り	▲3.6	▲28.0	▲11.5	▲19.2

【今期】

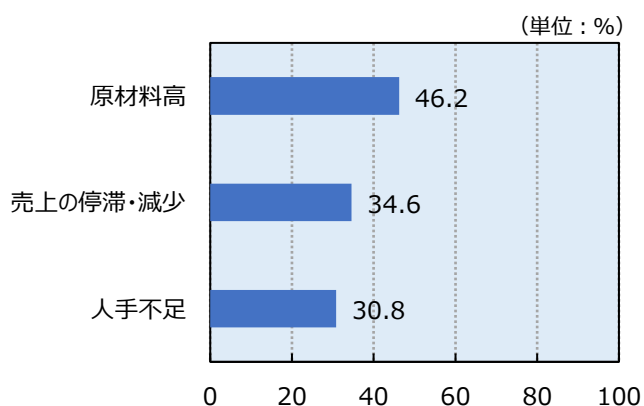
前期比で、すべてのD Iが改善しました。前年同期比では、すべてのD Iが悪化しました。

【来期】

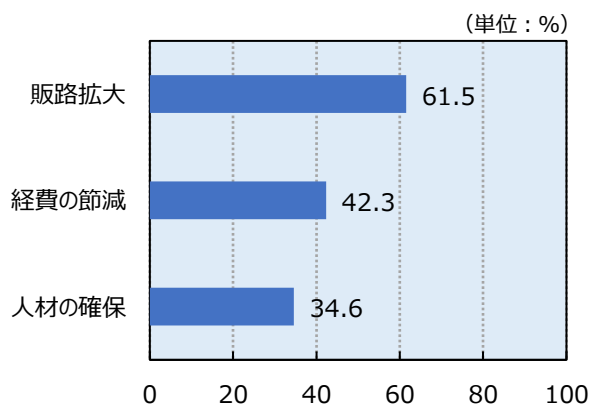
今期実績比で、業況D Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○半導体の需要が回復傾向にあり、売上の増加を見込んでいる。(精密機械器具)

○売上は安定しているものの、材料費や輸送費の高騰により利幅は減少している。(運搬機械)

卸売業

■ 主要D Iの推移 ■

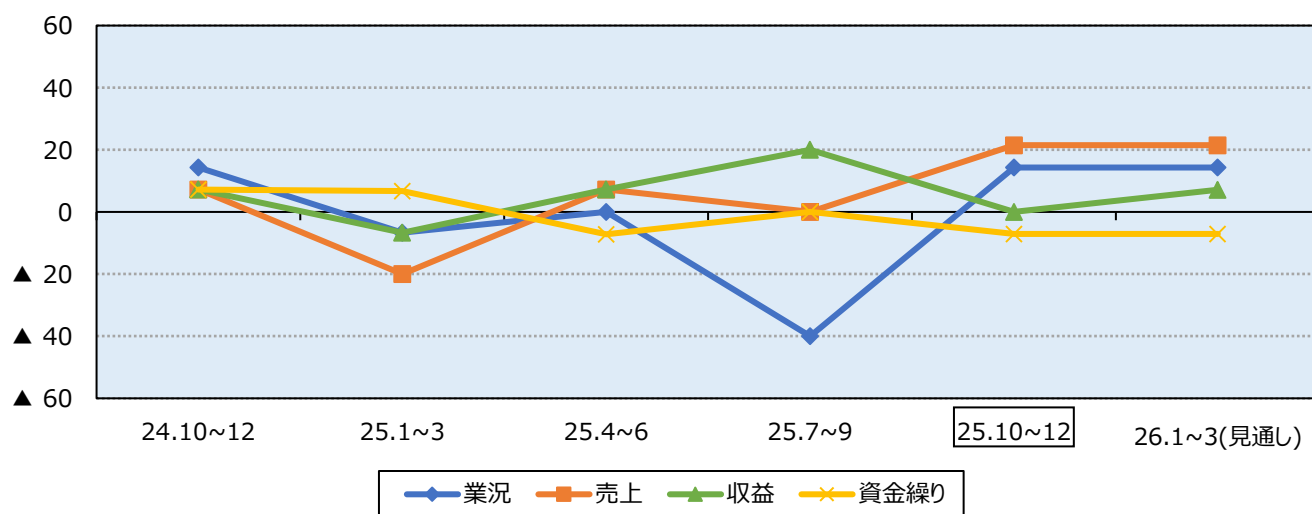
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	14.3	▲40.0	14.3	14.3
売 上	7.2	0.0	21.5	21.5
収 益	7.2	20.0	0.0	7.1
資 金 繰 り	7.2	0.0	▲7.1	▲7.1

【今期】

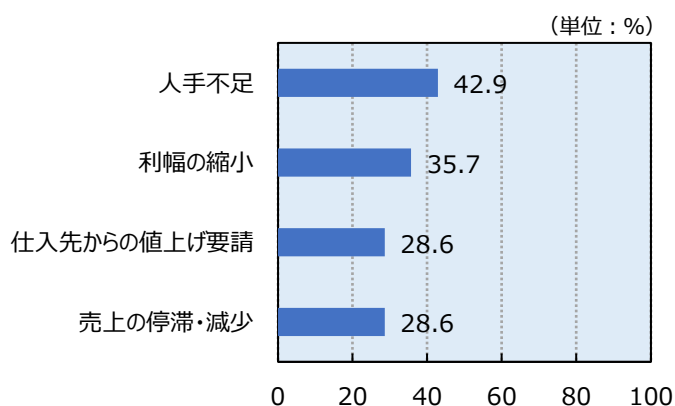
前期比で、業況D Iと売上D Iが改善、収益D Iと資金繰りD Iが悪化しました。前年同期比では、業況D Iが横這い、売上D Iが改善、収益D Iと資金繰りD Iが悪化しました。

【来期】

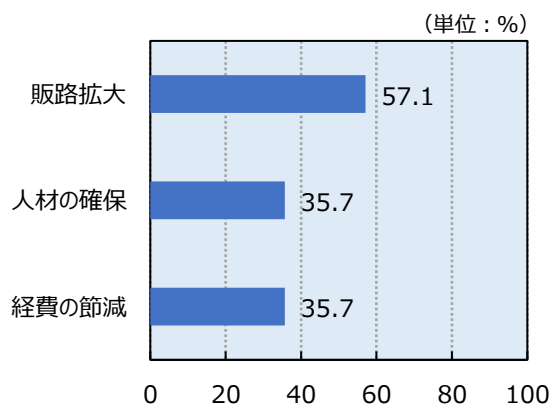
今期実績比で、収益D Iを除いて横這いの見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 主力商品の仕入価格が上昇しており、販売価格の調整を行っている。(水産物)
- ビジネスマッチング等へ積極的に参加し、新たな販路を確保に努めている。(乾物)

小 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

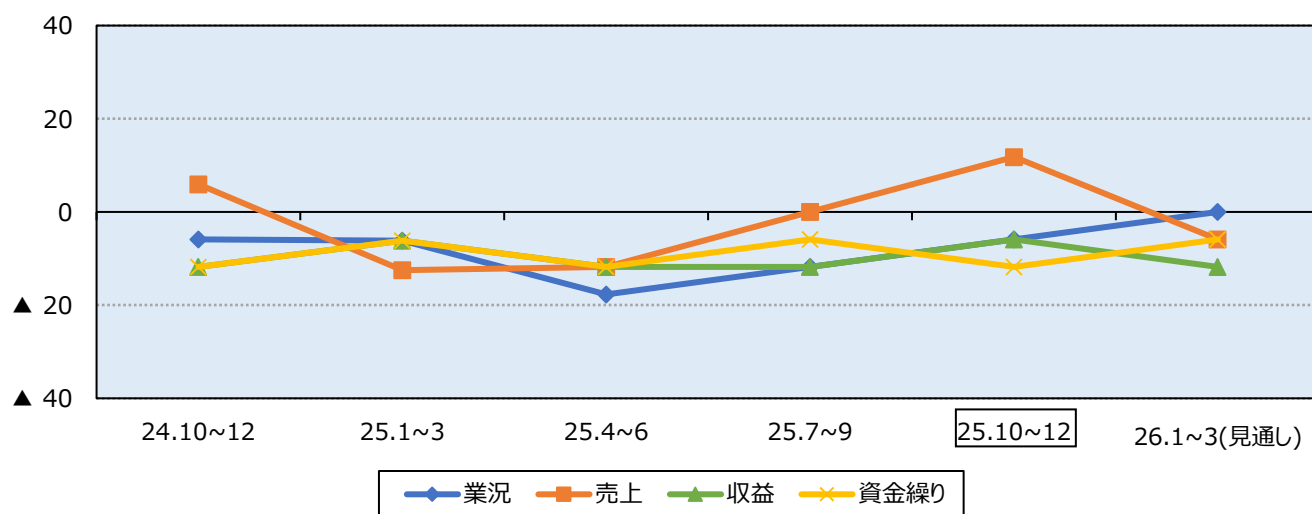
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲5.9	▲11.8	▲5.9	0.0
売 上	5.9	0.0	11.8	▲5.9
収 益	▲11.8	▲11.8	▲5.9	▲11.8
資 金 繰 り	▲11.8	▲5.9	▲11.8	▲5.9

【今期】

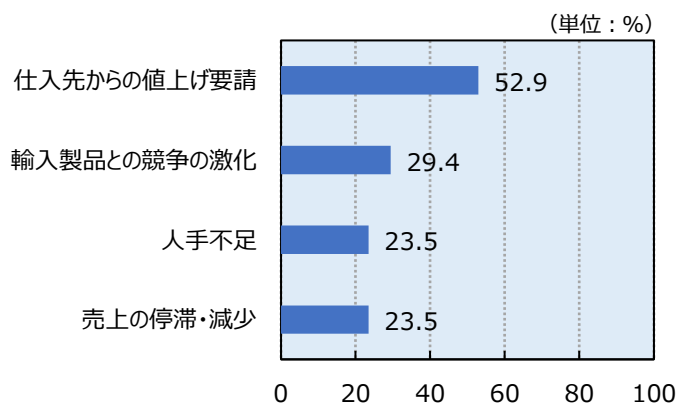
前期比で、資金繰りD Iを除いて改善しました。前年同期比では、業況D Iと資金繰りD Iが横這い、売上D Iと収益D Iが改善しました。

【来期】

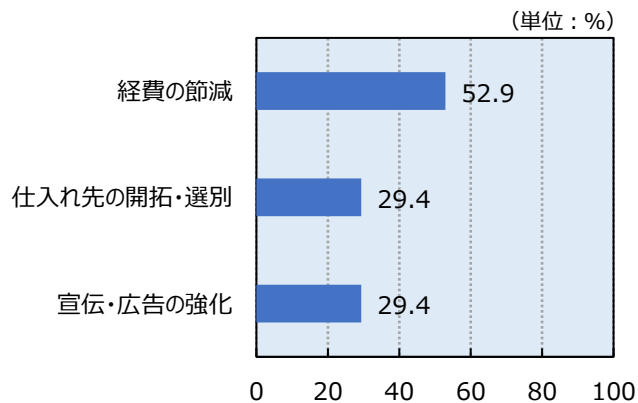
今期実績比で、業況D Iと資金繰りD Iが改善、売上D Iと収益D Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○近隣同業者の廃業が増加しており、遠方の依頼が増加傾向にある。（生コン）

○個人顧客向けの販路拡大に注力するなど、新たな取り組みによる業容拡大を図っている。（酒類）

サービス業

■ 主要D Iの推移 ■

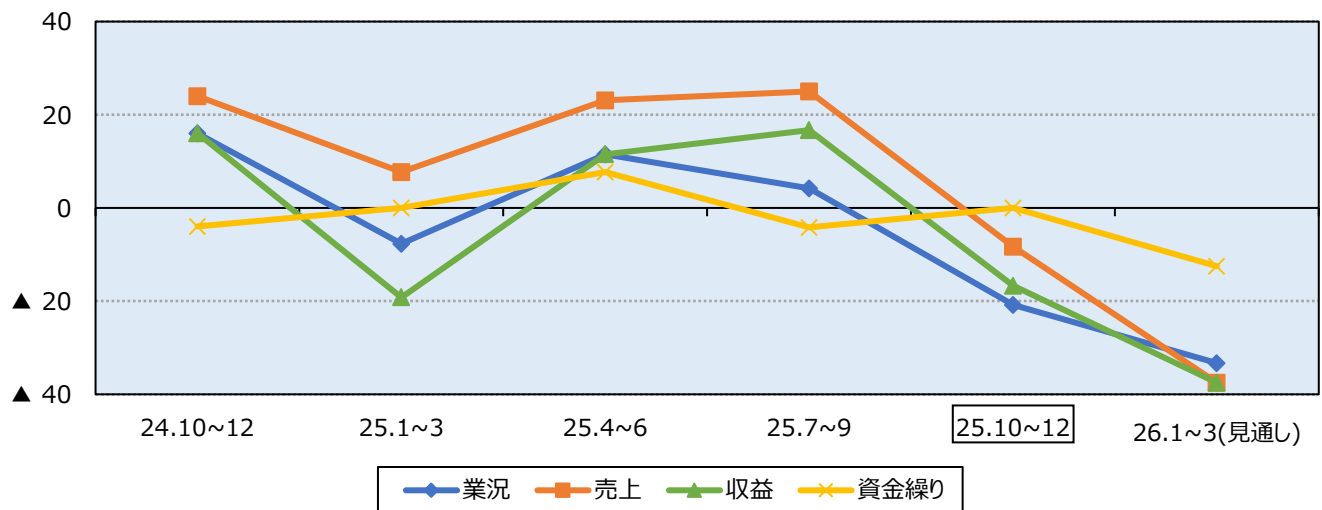
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	16.0	4.2	▲20.8	▲33.3
売 上	24.0	25.0	▲8.3	▲37.5
収 益	16.0	16.7	▲16.7	▲37.5
資 金 繰 り	▲4.0	▲4.2	0.0	▲12.5

【今期】

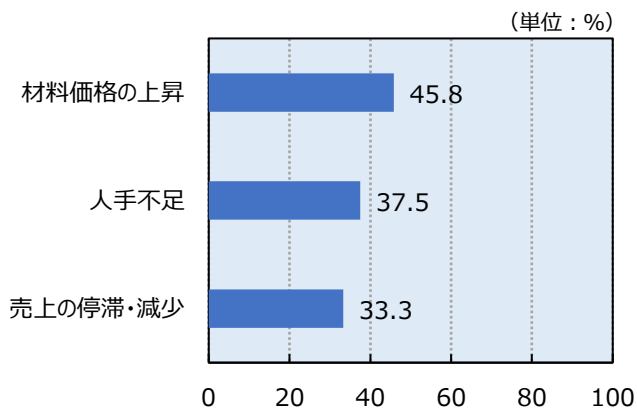
前期比および前年同期比で、資金繰りD Iを除いて悪化しました。

【来期】

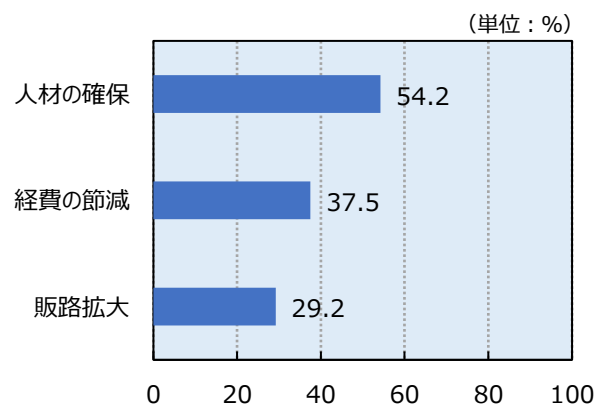
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○外国人観光客はやや減少傾向にあり、売上増加策に苦慮している。(レジャー)

○近隣にオープンした競合店に顧客が流れつつあり、新メニューの考案等により対抗していく。(飲食)

建設業

■ 主要D Iの推移 ■

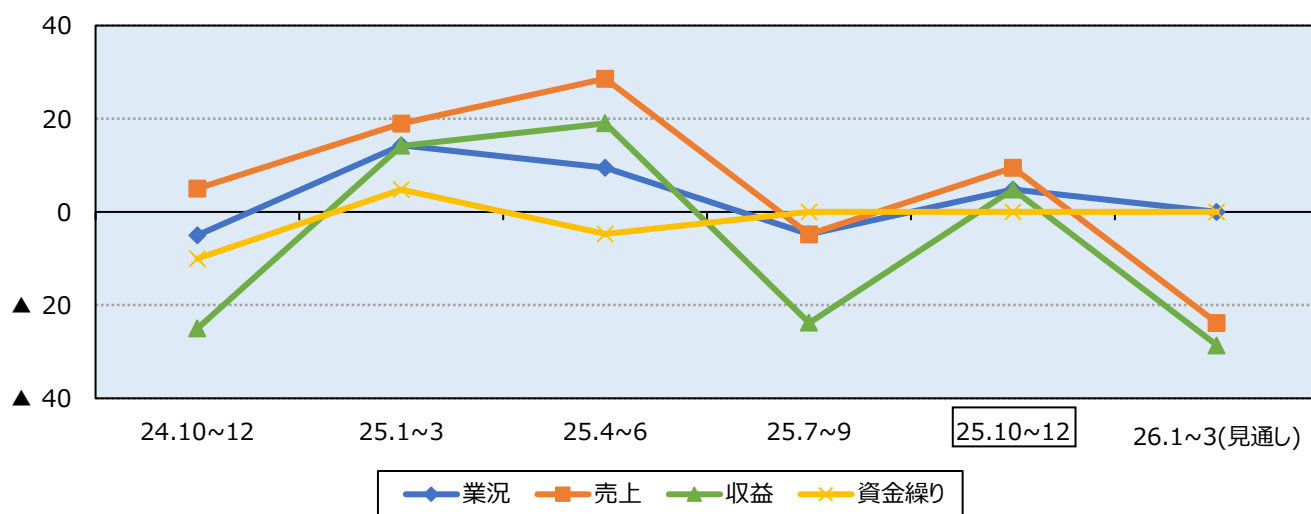
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲5.0	▲4.8	4.8	0.0
売 上	5.0	▲4.8	9.5	▲23.8
収 益	▲25.0	▲23.8	4.8	▲28.6
資 金 繰 り	▲10.0	0.0	0.0	0.0

【今期】

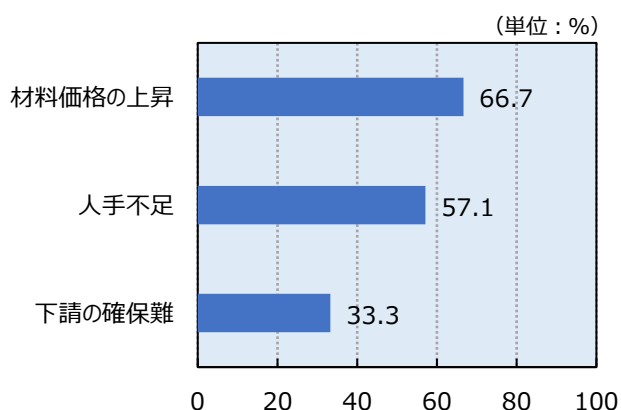
前期比で、資金繰りD Iを除いて改善しました。前年同期比では、すべてのD Iが改善しました。

【来期】

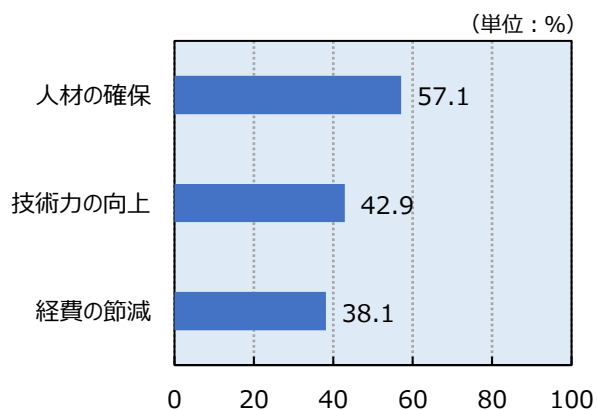
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○最近では、電線の地中化工事の受注が増加傾向にある。（電気通信工事）

○材料価格上昇の影響はあるものの、価格に転嫁できている。（土木工事）

不動産業

■ 主要D Iの推移 ■

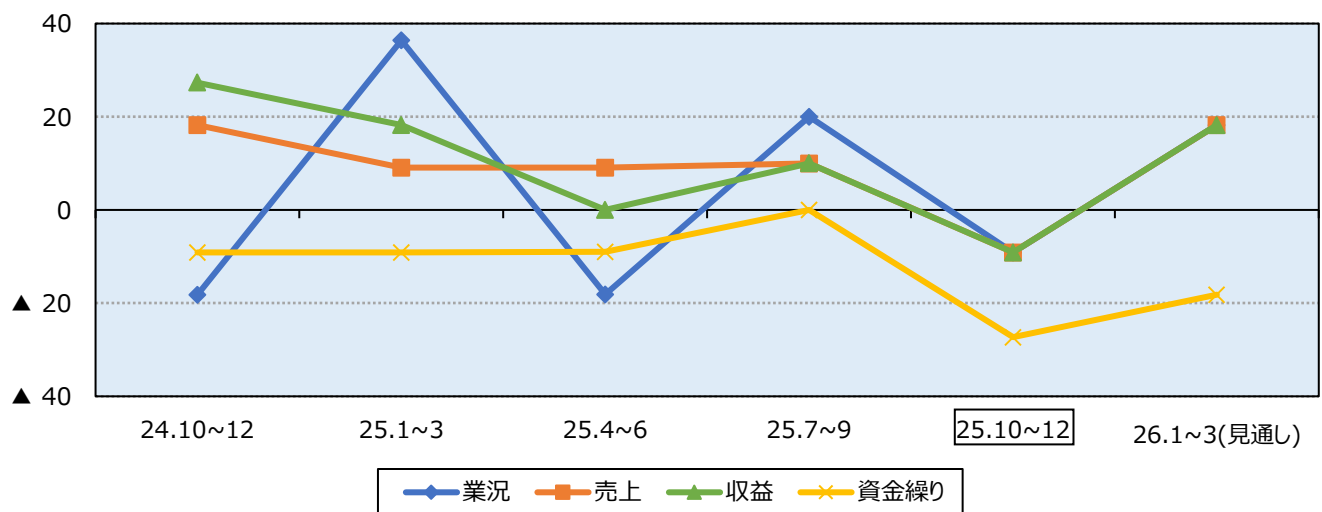
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲18.2	20.0	▲9.1	18.2
売 上	18.2	10.0	▲9.1	18.2
収 益	27.3	10.0	▲9.1	18.2
資 金 繰 り	▲9.1	0.0	▲27.3	▲18.2

【今期】

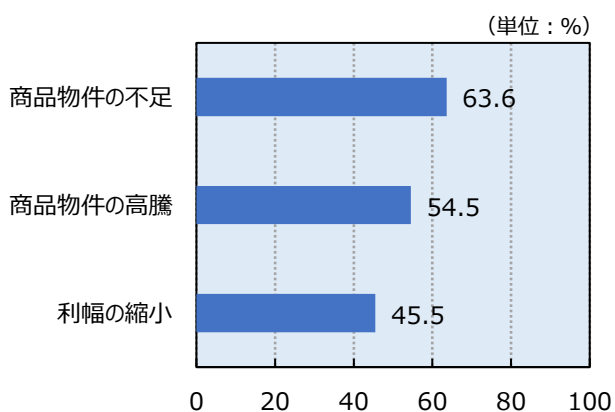
前期比で、すべてのD Iが悪化しました。前年同期比では、業況D Iを除いて悪化しました。

【来期】

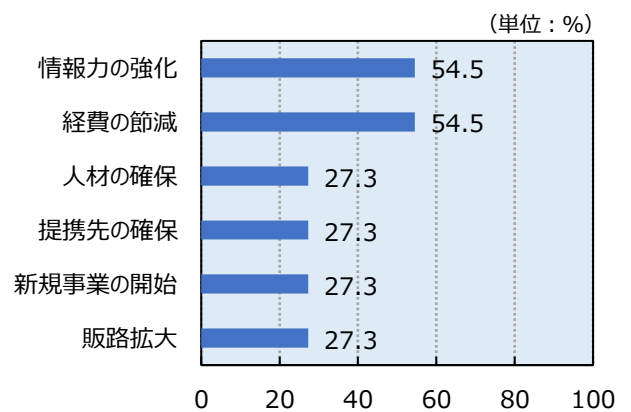
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

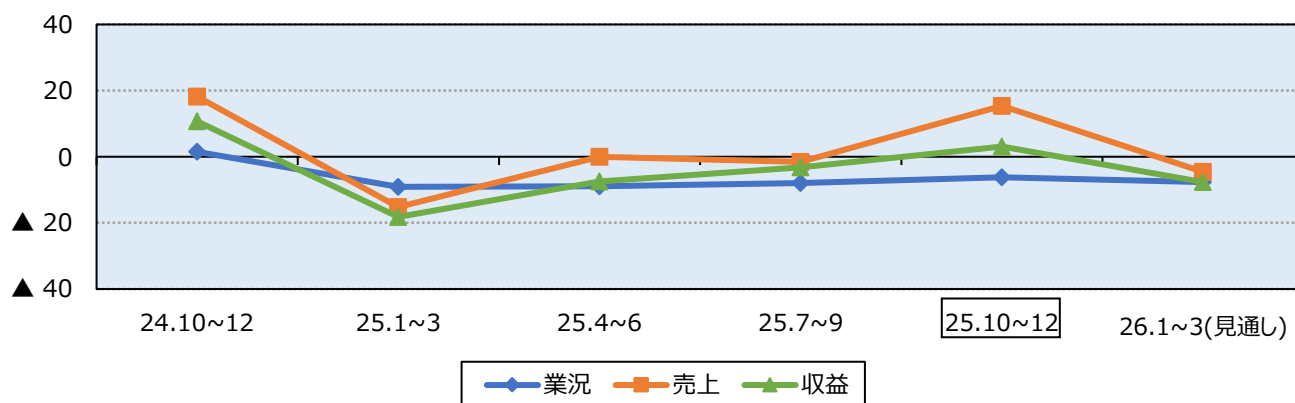
- インバウンド向けの宿泊施設の急増が影響し、物件不足の状態が続いている。(不動産売買・仲介)
- 相続に関する相談から中古物件を仕入れることが多くなっている。(不動産売買・仲介)

＜地区別D I の状況＞

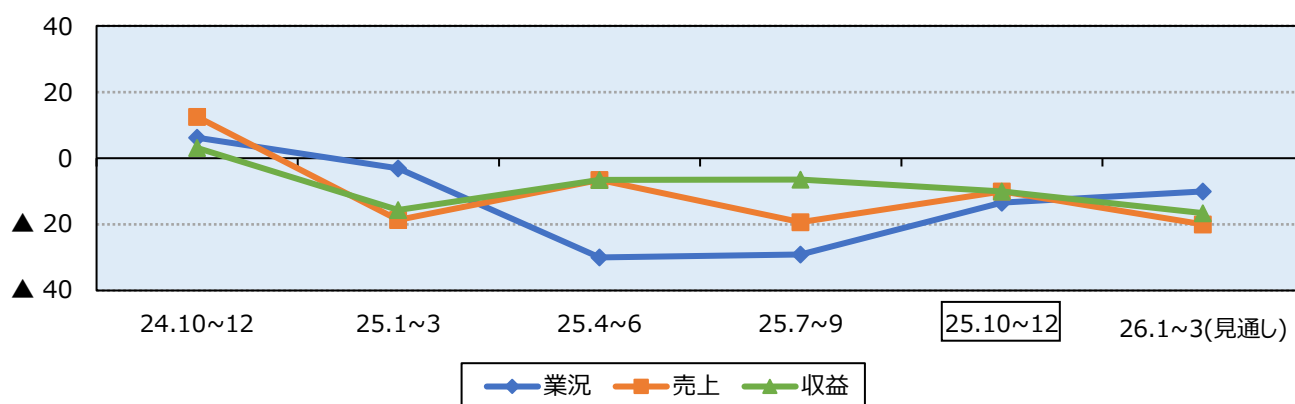
地区別にみると、山梨県国中地区では、前期比ですべてのD I が改善しました。東部富士五湖地区では、業況D I と収益D I が改善し、売上D I が悪化しました。相模原周辺地区では、すべてのD I が悪化しました。前年同期比では、山梨県国中地区と東部富士五湖地区で、すべてのD I が悪化しました。相模原周辺地区では、業況D I が改善し、売上D I と収益D I が悪化しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区で、すべてのD I が今期実績比で悪化の見通しとなりました。東部富士五湖地区と相模原周辺地区では、業況D I が改善、売上D I と収益D I が悪化の見通しとなりました。

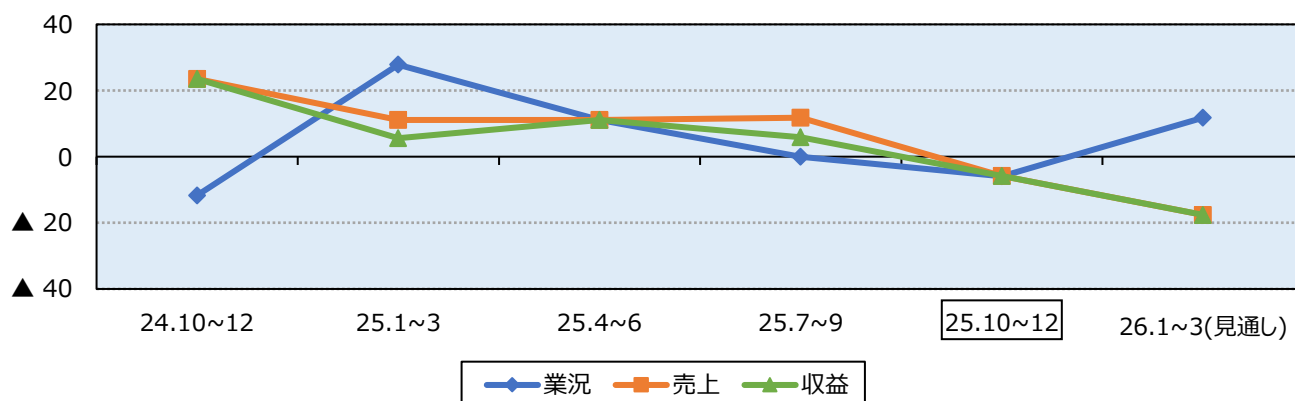
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】

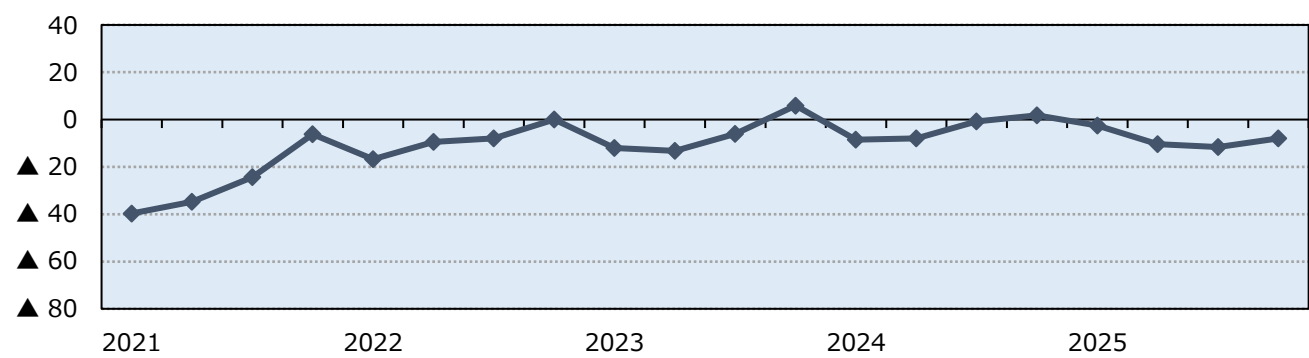


【 相模原周辺地区D I の推移 】

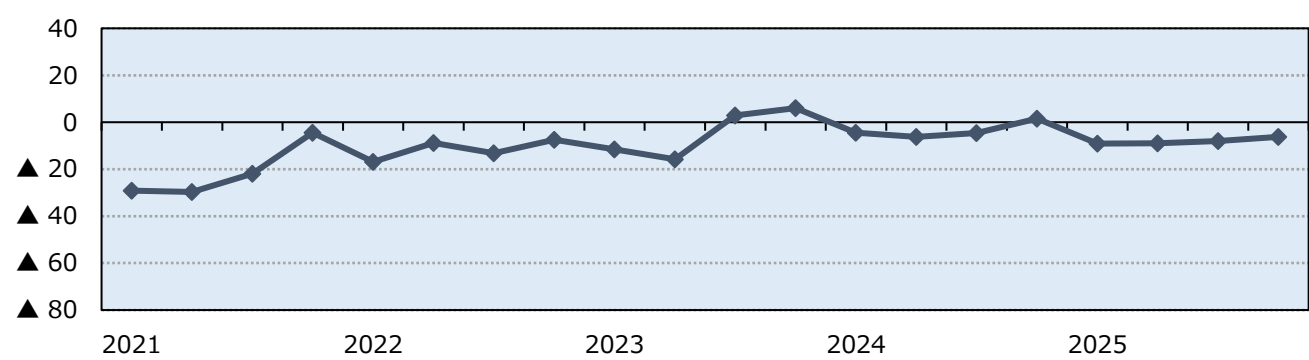


<業況D I の5年間の推移>

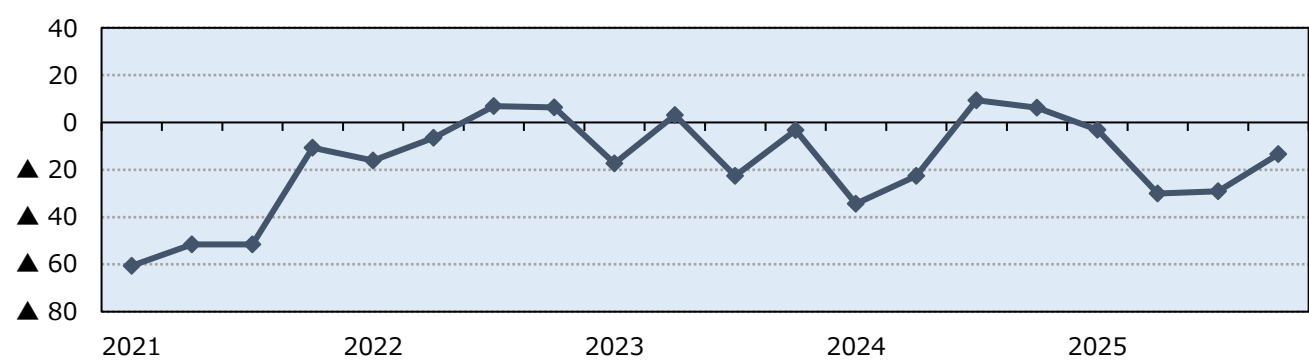
【 総合D I の推移 】



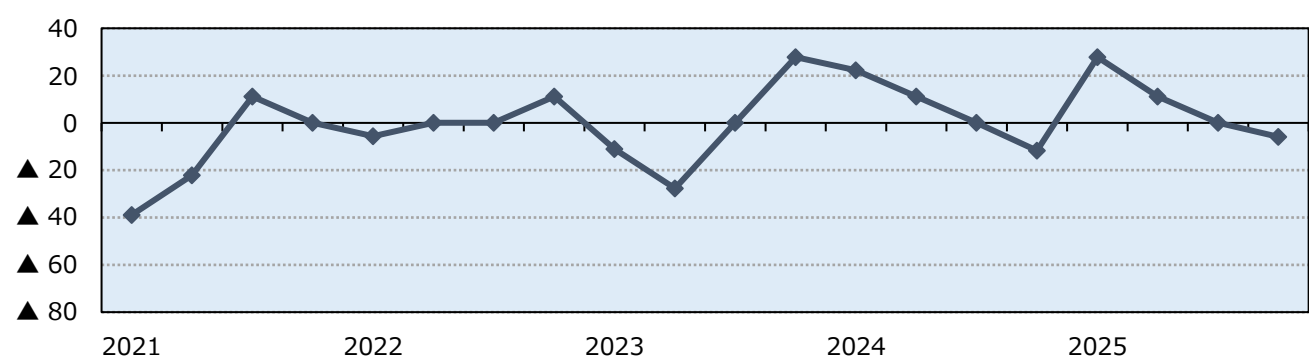
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】



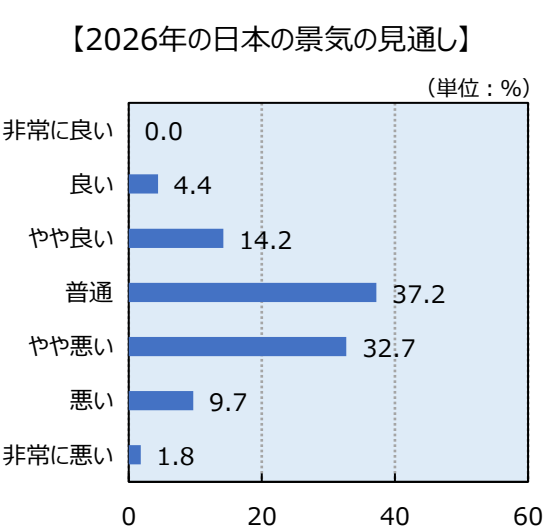
【 相模原周辺地区D I の推移 】



2026 年（令和 8 年）の経営見通し（回答企業：113 社）

問 1 2026 年の日本の景気をどのように見通していますか。

- 『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）が 18.6%、『悪い』（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が 44.2%、「良い(A)－悪い(B)=DI」は▲25.6 となりました。
- 2025 年見通し調査比で 9.1 ポイント改善、2024 年見通し調査比で 2.5 ポイント悪化しました。

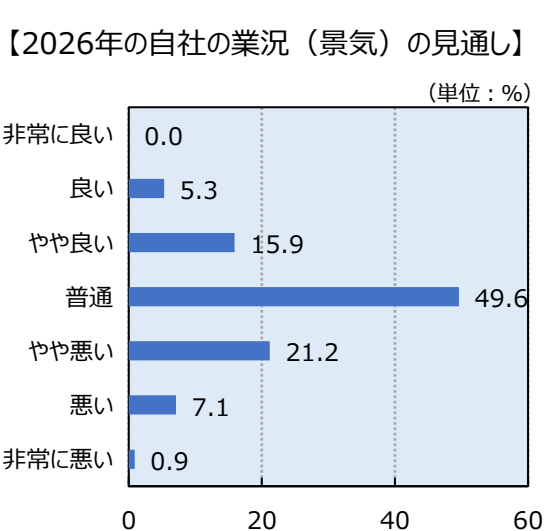


(単位：%)

	2024 年 見通し	2025 年 見通し	2026 年 見通し
良い(A)	23.1	15.7	18.6
非常に良い	0.9	0.9	0.0
良い	4.3	0.9	4.4
やや良い	17.9	13.9	14.2
普通	30.8	33.9	37.2
悪い(B)	46.2	50.4	44.2
やや悪い	31.6	35.7	32.7
悪い	12.0	13.9	9.7
非常に悪い	2.6	0.9	1.8
D I (A)-(B)	▲23.1	▲34.7	▲25.6

問 2 2026 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。

- 『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）が 21.2%、『悪い』（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が 29.2%、「良い(A)－悪い(B)=DI」は▲8.0 となりました。
- 2025 年見通し調査比で 5.9 ポイント改善、2024 年見通し調査比で 0.5 ポイント改善しました。

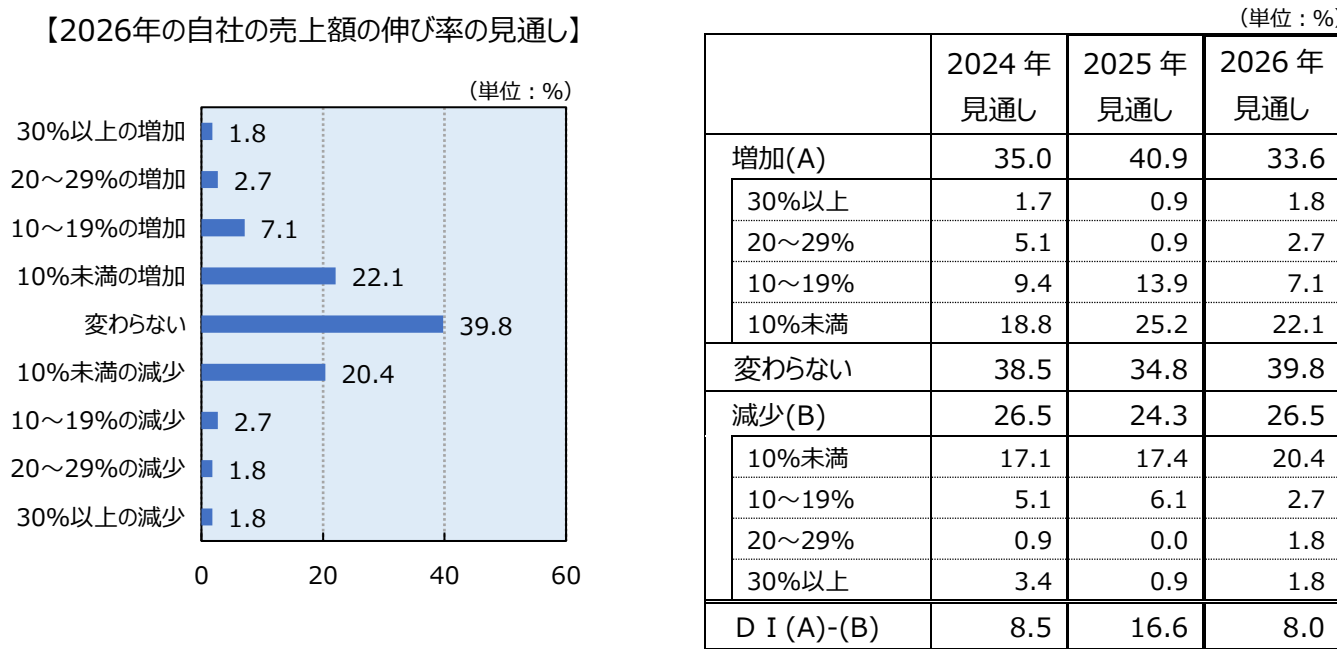


(単位：%)

	2024 年 見通し	2025 年 見通し	2026 年 見通し
良い(A)	24.8	18.3	21.2
非常に良い	0.0	0.0	0.0
良い	7.7	2.6	5.3
やや良い	17.1	15.7	15.9
普通	41.9	49.6	49.6
悪い(B)	33.3	32.2	29.2
やや悪い	27.4	24.3	21.2
悪い	4.3	7.0	7.1
非常に悪い	1.7	0.9	0.9
D I (A)-(B)	▲8.5	▲13.9	▲8.0

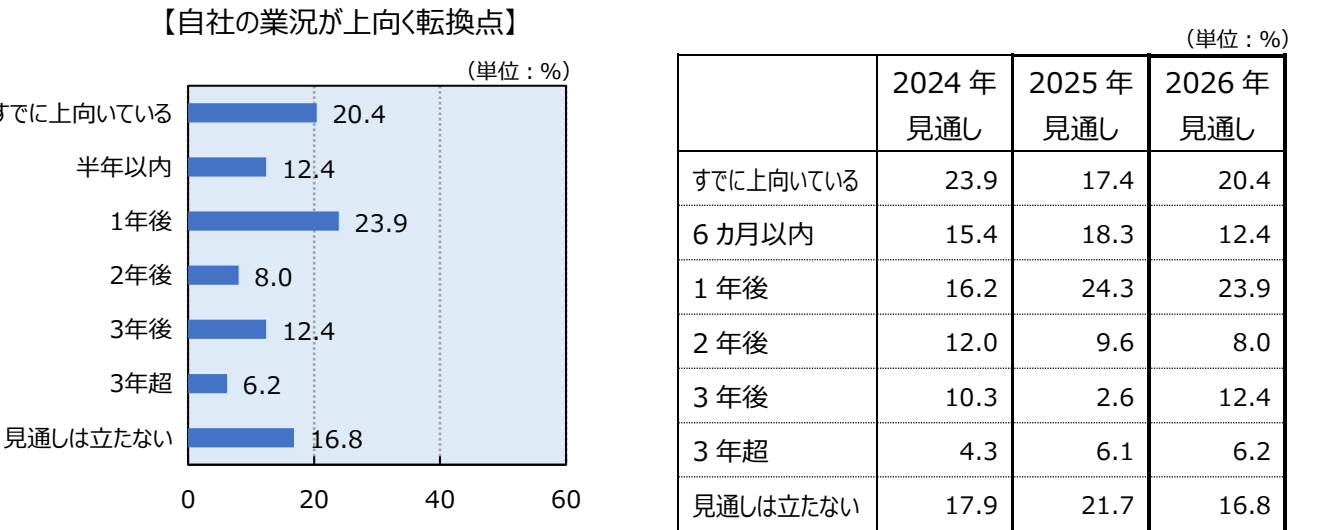
問3 2026年における自社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそのくらいになると見通していますか。

- 「増加(A)」が33.6%、「減少(B)」が26.5%、「増加(A)－減少(B)＝DI」は8.0となりました。
- 2025年見通し調査比で8.6ポイントの悪化、2024年見通し調査比で0.5ポイント悪化しました。
- 「増加(A)－減少(B)＝DI」は4年続けてプラス値となりました。



問4 自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

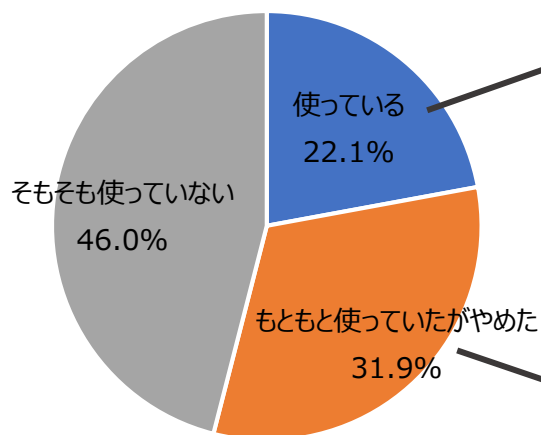
- 「すでに上向いている」、「6 か月以内」、「1 年後」のいずれかを回答した企業の割合は 56.6%となり、2025 年見通し調査比で 3.4 ポイント減少、2024 年見通し調査比で 1.0 ポイント増加しました。
- 「見通しは立たない」と回答した企業の割合は16.8%となり、2025年見通し調査比で4.9ポイント減少、2024年見通し調査比で1.1ポイント減少しました。



問5 政府は、2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。

- 紙の手形・小切手の利用状況について、「そもそも使っていない」が46.0%と最も多く、次いで「もともと使っていたがやめた」が31.9%、「使っている」が22.1%となりました。
- 紙の手形・小切手を使っている理由について、「取引先との慣行」が10.6%と最も多く、次いで「コスト面で現状のままだが最適」が5.3%となりました。
- 紙の手形・小切手の代替手段について、「でんさい」と「IB（インターネットバンキング）」がともに15.9%となりました。

【紙の手形・小切手の利用状況】



【紙の手形・小切手を使っている理由】

(単位：%)

取引先との慣行	10.6
コスト面で現状のままだが最適	5.3
経理事務の変更が困難	0.9
でんさい・IB等のセキュリティ面に懸念	0.9
でんさい・IB等の操作面に懸念	0.9
その他	3.5
合計	22.1

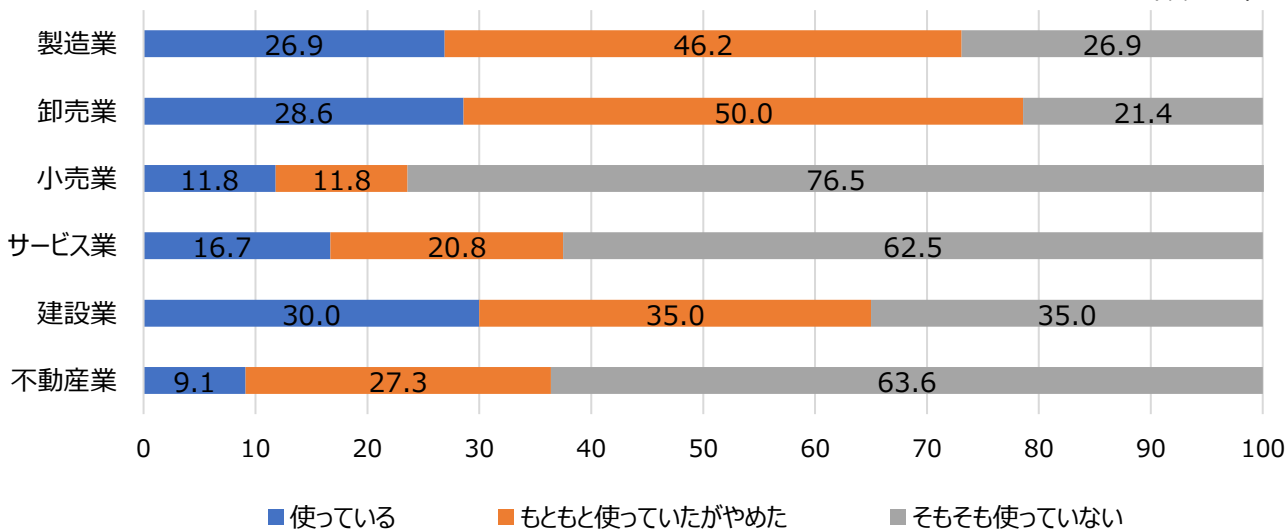
【現在の主な資金決済手段】

(単位：%)

でんさい	15.9
IB	15.9
合計	31.9

業種別回答割合

(単位：%)



★地域のイベント情報

十日市祭典（開催日：2月7日・8日）

⇒甲府盆地に春の訪れを告げるお祭りとして、400年以上の歴史を持っています。「猫の卵と馬の角以外は何でも揃う」と言われるほど品数が豊富で、縁起物や日用品、飲食物などが並び、多くの人で賑わいます。

会場：県道主要地方道 韮崎南アルプス中央線北側・若草瓦会館・JA 南アルプス市若草共選所周辺
（南アルプス市加賀美2605-5）

交通アクセス：中部横断自動車道南アルプス IC から車で約5分

笛吹市桃源郷春まつり（開催日：3月下旬～4月中旬）※未定

⇒市内の様々な場所でイベントが開催され、桃の花の絶景を様々なシチュエーションで楽しむことができます。また、地元特産品が販売される屋台が立ち並ぶなど、春の味覚を満喫できます。

会場：笛吹市一帯（笛吹市八代ふるさと公園、花鳥の里スポーツ広場など）

与瀬神社例大祭（開催日：4月上旬）※未定

⇒毎年宿場町において疫病から宿人を守ったとされる「与瀬の権現様」を崇敬するための祭りです。神輿渡御の豪快なお祭りで、見どころは急な50段の石段を神輿が駆け下るシーンです。

会場：与瀬神社（与瀬神社）（相模原市緑区与瀬1392）

交通アクセス：中央自動車道相模湖東 IC から車で約6分、または JR 中央線相模湖駅から徒歩で約10分

編集後記

2026 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期の D I 調査では、業況 D I と売上 D I が前期（7月～9月）比で改善しました。業況 D I と収益 D I は4期連続でマイナス値となりましたが、売上 D I は2期ぶりにプラス値に転じています。

特別調査では、「2026年（令和8年）の経営見通し」と題し調査しました。自社の業況の見通しについて、昨年調査比および一昨年調査比とともに改善しました。

また、政府が2027年度末までに約束手形廃止・小切手の全面的な電子化の方針を示すなか、紙の手形・小切手の利用状況について調査したところ、約3割の企業では、過去に使っていたが、現在はでんさいおよび IB へ移行しており、5割近い企業ではそもそも紙の手形・小切手を使っていない結果となりました。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携による支援、補助金やマッチングに関する情報提供等により、お客さまの課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。